

38 期 2022-2023 年度 浜名湖ロータリークラブ週報

例会場：浜名湖レークサイドプラザ 〒431-1424 静岡県浜松市北区三ヶ日町下尾奈 200 TEL・FAX 053-524-1177
E-mail hamanako@hamanako-rc.com HP <http://www.hamanako-rc.com>
例会日：毎週火曜日 12:30～13:30
会 長：神藤 雅章 幹 事：高柳 慎一 公共イメージ向上委員会委員長：森 俊幸

第 1702 回例会 2022 年 7 月 19 日(火) 晴 VOL.38 週報 No.2

点鐘：小島 明良 直前会長 SAA：後藤 成生 ソング♪それこそロータリー

本日のプログラム： 第 1 回ガバナー補佐訪問

本日のゲスト： 静岡第 5 グループガバナー補佐 坂田 茂 様 (浜松西 RC)
同 事務局次長 竹村 寿文 様 (浜松西 RC)

会員数 41 名 / 免除会員数 0 名 / 計算総数 41 名 / 本日の出席数 31 名 / 暫定出席率 75.61%

会長挨拶 * (代理) 小島明良



神藤会長は緊急入院につき本日の例会を欠席させていただきます。病名は腎臓結石で内視鏡手術にて

施術し早ければ明日にも退院との事です。本日は会長代理として直前会長の小島が点鐘並びに会長挨拶をさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

昨日、高柳幹事から会長が入院したとの一報を受けたとき、不謹慎ながら和田アキ子の歌う【あの鐘を鳴らすのは貴方】が頭をよぎりました。会長欠席の時、直前会長の私が鐘を鳴らし例会が始まると知りました。今思えば、確か 33 期の柴田会長が 1 ヶ月お休みしていた時は直前会長の具先生が代理を務めていたなと思いだしました。早い回復をお祈りいたします。

話が変わりますが、最近の天候は変ですね。線状降水帯と言う言葉をよく聞きます。これは人間に置き換えると带状疱疹みたいな感じですかね。大きな被害が出ない事を祈るばかりです。

さて、本日の例会は坂田ガバナー補佐の第 1 回目の訪問です。RI 会長及び地区ガバナーの今期活動方針伝達です。どうぞよろしくお願いいたします。

幹事報告 * 高柳 慎一



*配布物：

- ・1701 回週報
- ・ガバナー月信 7 月号
- ・会員手帳 2 冊

*回覧物：

- ・納涼例会出欠表
- ・新会員推薦書

委員会報告

親睦委員会 委員長 山本 慎司



・納涼例会の件

7 月 26 日 (火) に納涼例会を行います。会員の皆様と大人の同伴者の方々と共に、着座にて楽しんでいただける 2 つのアトラクションを企画しています。ぜひご参加ください。

スマイル報告

神藤雅章 坂田ガバナー補佐様、竹村事務局次長様、ようこそ浜名湖へ。宜しくお願いいたします。



浜名湖ロータリークラブ 38期会長テーマ 「 新たな取り組みで 繋ぐ 繋げる 浜名湖 RC に! 」

- 高柳慎一 坂田ガバナー補佐様、竹村事務局次長様、本日はよろしく申し上げます。
- 中村一壽 坂田ガバナー補佐様、竹村事務局次長様、本日は宜しく願ひいたします。
- 菅沼仁司 ガバナー補佐公式訪問ありがとうございます。本日はよろしく願ひいたします。
- 原 三留 つゆが明けたら雨が多くなりました。
- 穴水春男 今期最初の出席です。よろしく願ひいたします。坂田ガバナー補佐御一行さま、ご苦労さまです。
- 中村二三男 戻り梅雨でぐずついた天気が続く、コロナも連日感染者数が増えています。皆さん気をつけましょう。
- 佐原功一郎 坂田ガバナー補佐様、竹村事務局次長様、ようこそお越し頂きました。ご指導よろしく願ひいたします。
- 白井繁充 坂田ガバナー補佐ご一行様、本日は少し離れた浜名湖ロータリーへようこそお越しくださいました。
- 森 俊幸 坂田ガバナー補佐、竹村事務局次長、ようこそ浜名湖へ。本日は神藤会長が居なくてすいません。
- 中村哲也 坂田ガバナー補佐様、竹村事務局次長様、ようこそ浜名湖へ。本日はよろしく願ひいたします。
- 内山悦二 坂田ガバナー補佐、竹村事務局次長、ようこそ浜名湖 RC へ。本日は宜しく願ひいたします。
- 小島明良 今日 RI 会長、地区ガバナーの運営方針の伝達です。よろしく願ひいたします。
- 杉山寿夫 こんにちは。足元の悪い中、坂田ガバナー補佐、ありがとうございます。一年間宜しく願ひいたします。



らず、誠に無調法な男です。ロータリー歴は 1982 年入会、本年 7 月で 40 年になり、職業分類は電気工事です。ロータリーは人生で 3 番目に長く続けています。実はこんなに長く続くとは思いませんでした。一番長いのが職業、2 番目が結婚生活（昨年金婚式を迎える事が出来ました）そして 3 番目がロータリー歴です。

なぜ、こんなに長く続けられたか、簡単です。気負わず、マイペースで参加したことです。ロータリーとの関わりは 35 歳の時、仕事関係の方が私の兄を誘いに来ました。兄は私に入会するように言い、そして何の抵抗なく入会をしました。さて、例会に行くと、年齢差に驚きました。今思えば若輩の私を育ててくれた、クラブの先輩皆さんの影響は大変大きかったと思います。私の人間形成に役立ったと思います。そして、ガバナー補佐を引き受けるにあたって、2 つの事を理由に大変躊躇しました。第 1、知識、能力に乏しい、つまり浅学菲才、先ほど申し上げたとおり井の中の蛙であります。そして、第 2 は、長くロータリーをしてきたが、真剣に真面目に取り組んできたかと問われますと、声高らかに返事ができません。そんなことで、推薦から承諾までずいぶん時間が掛かりました。誰かが言っていました、ロータリーは、ハイ。と YES。と喜んで。しかないんだと。そんなことを思い、とうとうハイと返事をしました。しかし、引き受けた以上その任務はしっかり務めてまいります。

ガバナー補佐の任務について、少し勉強しました。ガバナー補佐の主な任務は、グループ内のクラブ運営について、ガバナーを援助することだと思います。ガバナー方針のもとガバナーを支援し、各クラブの効果的運営、サポートを行いグループ内の事業の円滑な遂行、そして各クラブ間の連携、強化、融和、発展を目指し尽力するという事だと思います。ガバナー補佐として発信することは、ほとんどありません。もしあるとすれば IM

本日のプログラム 【 第 1 回ガバナー補佐訪問 】

静岡第 5 グループガバナー補佐 坂田 茂 様
私は浜松西クラブの坂田茂です。1948 年 2 月 20 日生まれ、ネズミ年。現在 74.5 歳です。雄踏町に生まれ、現在まで雄踏に住んでいます。（一時雄踏を離れましたが）まさに井の中の蛙大海を知

でしょう。つまり第5グループ11クラブとガバナー一間の調整役に努め、そのガバナー方針事業を確実に実行するために努力することです。それには、各クラブの皆さんの理解と協力が必要です。少しでも奥の深い、まさにイマジンを働かせ活動をしていきたいと思っています。

これから『ガバナー公式訪問』を各クラブさんに受けていただきます。その前に、本日ガバナー補佐訪問として貴重なお時間を設けていただきましたことを感謝申し上げます。今年度の方針について、皆さんにお伝えさせていただきます。

本日は、今年度の大きな目標を明確にします。その大きな目標とは、RIのテーマです。ジェニファー・ジョーンズ国際ロータリー会長からのテーマです。そのテーマをもとにして、地域の特性に合った活動目標こそが2620地区の地区戦略ビジョンです。

第5グループの運営についての方針を伝達します。

①『イマジン ロータリー』今年度RI会長のジェニファー・ジョーンズの国際ロータリーのテーマです。意味としては、世界に起こる変化を想像しながら、大きな夢を描き、ロータリーが持っている力を活かすという考えです。

②その『起こる変化』とは、平和の推進、疾病との闘い、水と衛生、母子の教育、地域経済の発展、環境の保護、この7つの変化を意味します。

③『ロータリーが持っている力』です。

- ・ロータリアン一人ひとりが持っているもの
- ・熱意、情熱、経験、ノウハウ、技術、相手を思う心、資金
- ・ロータリアン同士のネットワーク、繋がり

とありますが、これは個人の方であり、クラブ単位でもあり、第5グループ全体を意味します。

この力でもって起こりうる変化を想像して、夢を実現していこうとおっしゃっています。これを取り組んでいくための具体的な課題が次の通りです。

①ロータリーにおける女性会員の割合を3割に。これは明確に数字が出ています。女性の考えが増えることによって、活動の幅が広がるのが想像できます。期待値は高いものです。ジェニファー・ジョーンズさんも、女性初の国際ロータリー会長誕生となりましたから特に力を入れられていることと思います。

②適応と改革。シンプルなタイトルですから理解しづらいことでもありますが、会員がロータリー活動

を通して何を期待し、そして何がその人に果しえることができるか？その適応を考え、想像し、改革という結果を出していくことが必要であると私は理解しています。会員自身にとって、自分がロータリー活動の中でどのような役割を持たされているかを常に自覚し、継続させていくことこそが会員増強・維持に繋がっていくことと考えます。

③変化を受け入れる：新しいクラブモデルの受入れ。新しい意見、多様な意見をもとに、改革的な体制を作り上げていく。特に女性の入会により多様な意見が多く見込まれ、幅広いロータリー活動の展開が期待できると考えます。以上の3点の課題をクリアしていきながら、世界がもたらす変化に対応し、皆さんが持っている力を発揮して、国際ロータリーが掲げる目標を達成していこうとここに明確にしておきます。

この大きな目標に対して、2620地区としては浅原ガバナーが次のようにおっしゃっています。『絆を深め、ロータリー活動を再開しよう』これが今年度の地区方針です。アフターコロナが確実視されてきている今年度にとって、クラブ活動再開には大きなチャンスであります。今一度、懇親会など親睦を深め、絆を深め、大いに活動を盛り上げていきたいとの考えです。ロータリー活動の根源である奉仕活動を再開させたい。公共イメージを強化してロータリーブランドを高めたい。そのための活動に対し支援したい。これが2620地区の方針です。今年度、新たにグループの活動方針として生まれてきたのが、『グループ毎奉仕活動事業』というものがありません。これにつきましては、RI第2620地区8グループ毎の合同奉仕事業であります。寄付行為でなく、参加ロータリアンの実活動を伴うことであります。我々第5グループとしても『天浜線人と時代をつなぐ花のリレープロジェクト』と題し、この7月よりクラブ毎に対応していただきます。各クラブの日程もほぼ事業計画として盛り込まれました。一人ひとりの奉仕の精神を、地域社会への貢献へとつなげるチャンスでもあります。これを確実に推進して、11月の地区大会には大きな成果として発表し、内外にもアピールしていきたいと思えます。

また、私の方針としては、この2620地区の『絆を深め、ロータリー活動を再開しよう』という方針をもとに、第5グループ内において、各クラブの活動を活発化させるために、多くの情報を共有しようと考えています。各クラブの個性は、様々です。同じ地区であり、同じグループ内であっても、またす

ぐ隣にいるようなクラブであっても様々です。各クラブの活動を知ることにより、自身のクラブでも応用してみることは大いに結構なことだと考えます。臨時の合同例会、合同奉仕事業をすると良いでしょう。未来に向けた、姉妹クラブの締結を話し合うことも良いでしょう。11RC 親睦ゴルフコンペ以外にも、様々な同好会を結束してグループ全体に働きかけることも良いでしょう。今年度の会長幹事会は、できるだけ多くのアイデアを収集してそれを各クラブへ持ち帰っていただき、そしてクラブの中の活性化に繋がるような意見交換の場を設けています。是非、会員の皆さんから会長、幹事さんへ意見を伝えてください。また、多くのクラブのいろんなアイデアを、会長、幹事さんから聞いてください。一人一人の役割、そしてこの場における使命感も必ず湧いてくることだと思います。我々、第5グループの活動支援として、方針伝達とさせていただきます。各クラブ、第5グループ、2620地区と三位一体となって皆さんの成果に応じていけるよう努力します。

続いて、連絡事項を及びお願い事項の伝達です。

1点目、『グループ毎奉仕事業』として、『天浜線人と時代をつなぐ花のリレープロジェクト』について詳細をご連絡いたします。実施日は、各クラブさんにお任せしています。メンバーの構成として、総数×20%以上の参加人数で構成。実施箇所は、例年行われている各駅にて対応をお願いします。準備していただくものは、各クラブにて対応をお願いします。カマ、軍手、ゴミ袋など、あと特にこの暑い時期でありますので、熱中症対策など十分に備えていただきたいと思います。今年度の地区方針でもありますように『絆を深め、ロータリー活動を再開しよう』をもとに、活動を通じて、親睦を深め、絆を深めて、従来のロータリー活動を復活させたいと考えています。

2点目、『ウクライナ支援』です。昨年度は、地区より支援金活動の依頼があったと思います。各クラブでも対応していただいたことと思います。今後ウクライナ支援では、復興活動の支援金を考えたいですが現在その終息がみえない状況です。しかし現実には、日々避難民の数が増している状況下です。この状況を見過ごすわけにはいかないと考えています。身近なところから支援していこうと思ひ、現在は浜松市の国際課から避難民の情報をいただいています。ここから、始めていこうと

の考えで発足しました。市内の避難民に関して4月より若い女性の方が市内の知り合いを通じて、現在浜松市より支援を受けながら生活をされています。しかし、ここ数日の間に3名の方が新たに避難生活を始められているそうです。現在、浜松市としてもひっ迫している状況でないにしても今後避難民の数が増していく、また支援期間が長引けば現在の支援制度も見直さざるを得ない状況であるとおっしゃっています。そちらへの準備資金として、第5グループとしては支援金を集め浜松市へ贈りたいと考えています。是非、各クラブさんの熱い想いを身近で困っている方へお届けしたいと考えていますので、どうぞよろしくをお願いします。

我々事務局が、会長、幹事をサポートしていくことが浜名湖ロータリークラブの活発化へと繋がります。一年間、よろしくをお願いします。



本日のプログラム 【 運営方針発表 】

第38期各委員会の運営方針の発表。事業内容を確認し、一年間の活動に活かせるよう理解を深めてください。

※運営方針につきましては、事業計画書参照。

会場監督委員会	委員長	後藤 成生
ロータリー財団委員会	委員長	小島 明良
米山記念奨学委員会	委員長	内山 悦二
戦略計画委員会	委員長	佐原 功一郎



プログラム案内

8月9日(火) 会員増強担当プログラム
グループ毎にディスカッション。

8月16日(火) 特別休会